

令和4年度 第15回 しあわせ信州ご当地体操ビデオコンテスト 講評

新型コロナウイルス感染症が社会問題となって丸3年が経過し、今回も現地開催を断念せざるを得なかったことは大変残念でしたが、With コロナで3回目となるビデオコンテストは、今回も実行委員会の企画運営と、共催団体の長野県と日本健康運動指導士会長野県支部の全面的な協力、そして多くの後援・協力団体のお力添えにより、おかげさまで無事に開催することができました。心より感謝申し上げます。

さて、今年度も第7波、8波と感染拡大の影響が続き、日常的な活動もままならない状況の中でエントリーの出足も鈍く、コンテストが成立するか心配な状況でしたが、最終的には8作品のエントリーがあり、前々回の11作品には達しないものの、前回の6作品を超える結果となりました。地域を元気にするための体操づくりと普及に果敢に取り組み、コンテストにエントリーして下さった団体の皆様、8作品を視聴しコンテストを盛り上げて下さった数多くの方々に厚く御礼申し上げます。

現地開催は会場の熱気と盛り上がりの魅力ですが、WEB開催は想定を超える波及効果が強みです。強みが活きることによって体操の輪が広がり、県内外の健康づくりに貢献できれば嬉しく思います。

以下に、審査結果および閲覧状況等の情報を基にして講評をまとめましたのでご一読ください。

なお、それぞれの体操については、審査員による各体操への個別のコメントをご覧ください。

【審査方法について】

ご当地体操の審査は、次の3つの観点をそれぞれ10点満点とし、5人の審査員（医師、県職員、健康運動指導士）がそれぞれ独立して採点を行い、その総得点を集計・比較する形で公正に評価しました。

<審査基準の3つの観点> ※映像や演出の質は審査には加味されません。

- ① 地域への定着度・普及度（実際にどれだけ多くの方が実践しているか？）10点
- ② 馴染みやすさ・おこないやすさ（気軽に行え、誰でもなじみやすい内容になっているか？）10点
- ③ 効果度（実際にこの体操を行ってどんな効果が現れているのか？）10点

【全体的な評価について】

ビデオコンテストになって3回、各回の単純比較はできませんが、第13回から第15回までの変遷は次の通りです（全審査員、全審査基準の得点を平均して、10点満点で換算し直した数値で記載）。

《第13回：全11作品》平均7.8点（最高8.5点～最低7.1点）

《第14回：全6作品》平均8.3点（最高8.8点～最低7.5点）

《第15回：全8作品》平均8.5点（最高9.4点～最低7.9点）

今回の結果を一言で表現すれば「年々成熟」といったところでしょうか。

【波及効果について】

2023年2月28日時点で、8作品の体操動画の総視聴回数の合計は2238回でした。この視聴回数を公開してからの日数で割ると、それぞれの体操が1日当たり11.5回視聴され、前回の14.1回は下回りましたが、前々回の8.8回は上回っていました。現時点のチャンネル登録者数が2530人にまで増え、これまで3回にわたってWEB開催したことで、より多くの方々にご当地体操の素晴らしい取り組みを伝えることができ、ご当地体操ビデオコンテストの波及効果になりました。

以上